

# 地域防災を支える消防団

特集 最も身近な地域のヒーローはこの人たちかもしれない！



## 消防団ってなに？

消防団は、普段は会社員や自営業、農業、公務員など、それぞれの仕事や学業に就きながら、地域の安全・安心を守るために活動する非常勤特別職の地方公務員です。火災が発生した際の消火活動はもちろんのこと、捜索・救助活動、警戒・巡回など、地域に密着した重要な役割を担っています。また、平時には防火・防災の啓発活動、地域行事での警戒など、さまざまな活動を通じて地域防災力の向上に取り組んでいます。

## 消防署と消防団の違いは？

消防署は、専門的な知識と技術を持つ消防職員が24時間365日勤務し、火災や救急、救助活動などに迅速に対応しています。

一方、消防団は、自身の仕事を持ちながら活動する地域の皆さんで構成されており、地域をよく知る団員が活動しています。地域の道路や住宅事情、住民の状況を把握しているからこそ、災害時には迅速で的確な対応につながります。

消防署と消防団は、それぞれの特性を生かしながら連携して活動することで、災害時により迅速で的確な対応が可能となります。

消防団員は居住地または勤務地の分団、もしくは活動支援部に所属し、それぞれの役割に応じて活動しています。

- 14地区に分かれた分団 災害現場や警戒など
- 活動支援部 災害時の後方支援や防火・防災の啓発活動

9月1日は  
防災の日  
9月は  
防災月間

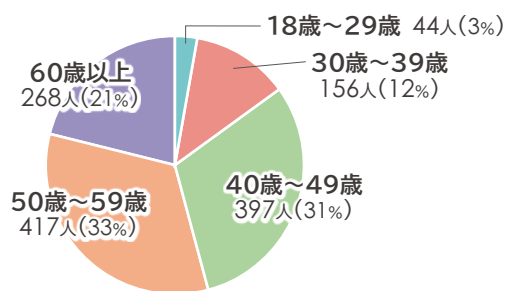
**地域**の安全・安心を支える消防団。身近な存在でありながら、その役割や活動については知られていないことも少なくありません。本特集では、消防団の活動や団員の思い、地域防災において果たす役割などを紹介します。

## 市内の消防団員の現状

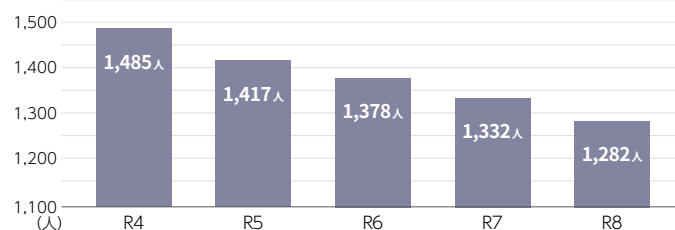
近年、全国的に消防団員の減少と高齢化が大きな課題となっており、本市においても同様の状況が続いています。過去5年間で団員数は約200人も減少し、年齢別でみると50歳以上の団員が半数を占めており、若年層の団員が少ない状況です。OB団員制度※の導入や報酬などの処遇改善を行い、団員数の減少を抑える取組を行っています。若年層の団員が減少し、就業形態の変化などにより、団員の確保が年々難しくなっています。

※OB団員制度：消防団を退団した方が、その豊富な経験を生かして消防団の活動に携わることが出来る制度。

年齢別団員数(令和8年4月1日時点)



過去5年間の団員数変遷(各年4月1日時点)



## 消防団Q&A

**Q** 消防団はどんな人が入れるの？  
特別な資格や経験は必要？

**A** 特別な資格や経験は必要ありません

湯沢市内に居住または勤務している18歳以上から65歳以下で、健康で消防団活動に参加できる方であれば、性別や職業を問わず入団できます。

入団後に必要な知識や技術を学ぶ研修や訓練を受けることができるため、未経験の方でも活動を始められます。

**Q** 仕事をしながらでも活動できるの？

**A** 仕事や家庭と両立しながら活動できます

多くの消防団員は仕事や家庭と両立しながら活動をしています。

訓練や行事はあらかじめ日程が決まっております。災害時には可能な範囲で出動しています。

**Q** 女性でも入団できるの？

**A** 女性も入団できます

現在29人の女性団員が活動しています。それぞれの地区の分団に所属し活動する女性団員もいれば、活動支援部に所属し平時の防火・防災教育や消防団事業の運営補助を行っている団員もあり、さまざまな分野で活躍しています。

**Q** 報酬などの待遇はどうなっているの？

**A** 条例に基づき、報酬や各種保障があります

- ▽活動実績に応じて支給される年額報酬、出勤報酬
- ▽活動中に怪我をした場合の公務災害補償
- ▽階級や活動年数に応じて支給される退職報酬金
- ▽活動に必要な被服、装備品の貸与

**Q** 災害時以外はどんな活動をしているの？

**A** 訓練や資機材の点検、地域の巡回、防災の啓発活動などを行っています

詳しくは次ページへ▶

湯沢市消防団組織図  
令和8年4月1日時点

|           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 団本部<br>5名 | 湯沢分団   | 95名  |
|           | 山田分団   | 178名 |
|           | 湯沢北分団  | 128名 |
|           | 幡野分団   | 76名  |
|           | 三関分団   | 74名  |
|           | 須川分団   | 94名  |
|           | 稲庭分団   | 64名  |
|           | 三梨分団   | 75名  |
|           | 川連分団   | 68名  |
|           | 駒形分団   | 70名  |
|           | 院内横堀分団 | 65名  |
|           | 秋ノ宮分団  | 94名  |
|           | 小野分団   | 81名  |
|           | 皆瀬分団   | 93名  |
|           | 活動支援部  | 22名  |

interview

# 地域を守る、その思い

地域の安全・安心を支える消防団員のお二人に、  
入団のきっかけや、活動への思いを聞きました。

湯沢市消防団  
皆瀬分団 第1部 班長

ごとう のぞみ  
**後藤 望** さん  
(食品製造販売業)



湯沢市消防団  
活動支援部 湯沢地域班 団員

さくち さきこ  
**菊地 佐起子** さん  
(電気工事事)



## 仲間とともに、地元を守る

地域の方に声をかけられたことをきっかけに、  
地域貢献への思いから消防団に入団しました。地  
元で火災を目にした経験から地域を守りたいとい  
う気持ちもありました。

平常時の活動は、月2回の巡回や、防火週間での  
チラシ配布・ポンプ点検などを行っており、仲  
間との協力や団員同士のコミュニケーションも大  
切にしています。火災出動時はグループLINE  
で連絡を取り合い、仕事や家庭と両立しながら、  
行ける人が無理なく参集できる体制で活動してい  
ます。

班長として、後輩の育成にも取り組みながら、  
先輩から受け継いだ消防団の活動を次の世代につ  
ないでいきたいです。

## 大切な人を守るために

災害時の消防団員の姿を見て、自分にもできる  
ことがあると思入団しました。活動する中で強  
くなったのは、「大切な人を守りたい」という思  
いです。家族や地域のかたがたが安心して暮らせ  
るよう、まずは自分が防災について学び、防災士  
の資格も取得しました。

活動支援部では、ポリ袋を使用した防災食の調  
理指導のほか、園児向けの防火防災教育を行っ  
ており、子どもたちに火の怖さや防災の大切さを伝  
えています。

防災は、毎日の「おはよう」やちよつとした気  
配りの延長線にあると思います。これからも私  
の小さな一歩が、地域の大きな安心につながるよ  
う、笑顔で活動を続けていきます。

消防団は地域の安全・安心を支える重要な役割を担っています。

地域の防災力の維持・向上のためには、市民の皆さんのご理解とご協力が必要です。

この特集をきっかけに、地域の防災についてあらためて考えてみませんか。

# 消防団員募集 地域を守るヒーローになりませんか？

市では消防団員として、地域の安全安心を守る仲間を募集しています。

## ■入団資格

市内に居住または勤務している、18歳以上の健康な方

## ■報酬・補償など

年額報酬が支給されるほか、火災や災害などへの出動  
に応じ、出勤報酬が支給されます。

公務災害補償、退職報償金、表彰などの制度もあります。

※秋田県では「秋田県消防団応援の店」制度により、  
県内市町村の消防団を応援しています。詳しく  
は下記二次元コードからご確認ください。

「秋田県消防団応援の店」



## 入団を希望する場合

下記または各総合支所までご連絡ください。  
また、知り合いの消防団員がいる場合は、団員までお声がけください。

## 災害時

### 水害



巡回・警戒

### 地震



避難誘導

### 火災



搜索活動



消火活動

火災や地震、大雨などの災  
害が発生した際、消防団員は  
現場での消火や搜索活動に加  
え、地域の巡回や避難の呼び  
かけなどを行います。被害を  
広げないために、地域の状況  
に応じてさまざまな活動にあ  
たります。

## 平常時

## 水防訓練

本格的な出水期を前に、水防  
技術の練度向上のため水防講習  
会で土のうなどを使用した工法  
を学びます。



## 防災訓練

地域の防災訓練などで応急手  
当やAEDの使い方など、災害  
が発生したときの対応を身ににつ  
けます。



## 消防訓練大会

分団ごとのチームが消防ポン  
プを操作し、日頃の訓練の成果  
を競います。



## 広報活動

防火・防災教室などを通し  
て防火・防災の大切さを伝え  
ています。



## 消防団活動で得られること

### ■地域に貢献できる

火災や災害発生時に、初期消火活動  
や救助活動を通じて「自分の地域は自  
分で守る」という地域貢献を実感する  
ことができる活動です。また、多様な  
職種や幅広い年齢層の仲間と出会い、  
地域に密着した人間関係を築くことが  
できます。地域の安心を支えながら、  
自分自身の成長にもつながるやりがい  
のある活動です。

### ■スキルが身につく

消防団員の訓練や研修で身につく火  
災や防災に関する幅広い知識や救命技  
能は、災害時だけでなく日常の突発的な  
事故にも落ち着いて対応できる力にな  
ります。こうした知識と技術が備わる  
ことは、大きな自信にもつながります。

### ◆企業にとってのメリット 社会貢献活動の一環としてPRできる

市では、消防団活動に協力する事業所を  
認定する「消防団協力事業所表示制度」を  
実施しています。事業所の協力が社会貢献  
として広く認められると同時に、事業所の  
協力を通じて地域の消防防災力がより一層  
充実されることを目指しています。認定さ  
れた事業所は、交付された表示証を掲示す  
る他に、表示証のマークを自社ホームページ  
やなどに使用して社会貢献活動の一環と  
して広くPRできます。